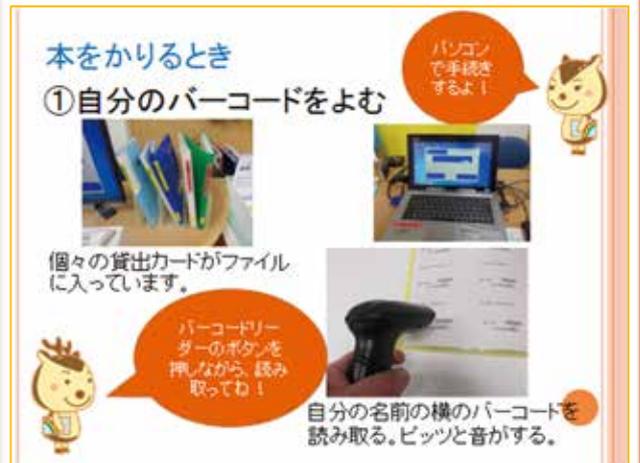


蔵書管理・貸出システムの活用

学校の状況に応じて、学校図書館用蔵書管理システムを活用することにより、蔵書管理のデータベース化や貸出手続きの電子化が可能となります。学校の蔵書や図書等の貸出状況を把握することは、適切に図書を選定・収集したり、除籍・廃棄したりする上で役立つ情報です。取組例を参考に、積極的に活用してみましょう。

■ 肢体不自由・知的障害教育部門を併置する特別支援学校の例 ■

貸出の際は、①貸出ファイルにある個人カードのバーコードを読む、②図書に付いているバーコードを読む、という2ステップで手続きが完了します。カードに氏名や書名を書く必要がなく、筆記が困難な児童・生徒も簡単に手続きができます。自分で操作できる喜びは、本を借りたいという意欲にもつながっています。



+ α

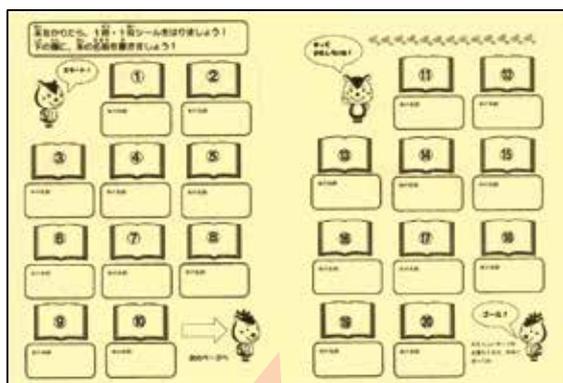
作業学習として蔵書管理事務に挑戦

肢体不自由特別支援学校や知的障害特別支援学校の高等部では、作業学習において、蔵書管理事務に取り組みました。貸出用バーコードを貼る作業や、パソコンに図書名を登録する作業など、生徒のできることや得意なことを生かして、作業を分担して行います。作業学習を通して、図書館の整備が一段と進み、友達や教員から感謝されたり、認められたりする機会が増え、満足感や達成感を得ることができました。また、様々な本に触れることにより、これまで以上に本や図書館が身近な存在となり、本への興味・関心を高める契機ともなりました。



本を借りることが楽しみになる読書カード

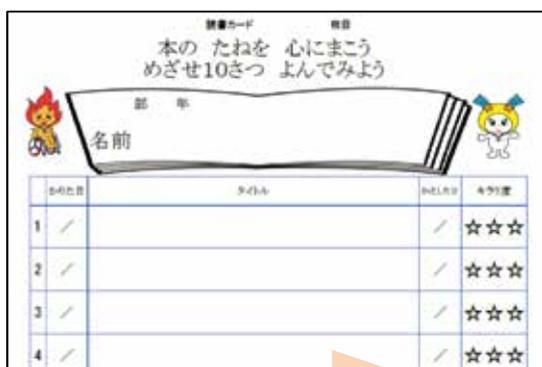
読書カードを作成し、読書履歴を蓄積することにより、児童・生徒は満足感や充実感を味わったり、自分の読書傾向を把握し、次に読む本の選書に生かしたりすることができます。また、カードを家庭でも活用することにより、学校と家庭等とで連携して読書活動を充実させることも期待できます。下記の実践例を参考に、児童・生徒の実態に応じて、カードの内容や構成を工夫し、本を借りることが楽しみになる読書カードの活用を進めていきましょう。



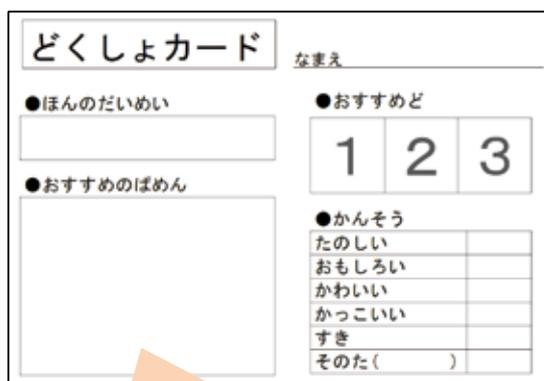
＼ 本を読んだらシールを貼ります ＼



＼ 感想は、イラストから選びます ＼



＼ 星の数でお気に入り度を表します ＼



＼ おすすめの場面が記入できます ＼

+ α

学校図書館専用バッグの活用

■知的障害特別支援学校の例■

児童・生徒全員が、学校のキャラクターをプリントした、学校図書館貸出専用のオリジナル手提げバッグを持っています。このバッグを持つことで、学校図書館に行くことへの見通しや、本を借りることへの期待感を高めることができます。



公立図書館との連携

公立図書館には、団体貸出や読み聞かせ、選書支援など、様々なサービスがあります。このようなサービスを計画的に活用することは、学校図書館の機能強化につながります。118 ページの都立図書館の学校支援サービスの情報も参考に、各学校での取組に生かしていきましょう。

■ 肢体不自由・知的障害教育部門を併置する特別支援学校の例 ■

年に複数回、近くの区立図書館の団体貸出を利用しています。回ごとにテーマを設けて選書し校内の専用コーナーに配架しています。

また、年間を通して、同図書館の職員によるお話会も実施しています。事前に、対象の学年・学級の実態や要望を伝え、どのような本を読み聞かせるか、相談するなど、連携を図りながら進めています。児童・生徒は、毎回、お話会を楽しみにしています。



区立図書館から借りてきた図書専用のコーナー



区立図書館の職員によるお話会

■ 知的障害特別支援学校の例 ■

年間を通して、計画的に近くの市立図書館に行って本を借りる活動を行っています。事前学習では、学校図書館の本を参考に、どのようなテーマの本を借りたいか考えたり、市立図書館のホームページを検索して、貸出手続きや館内での約束事を確認したりする活動を行いました。

地域の図書館を日常的に利用することを通して、卒業後の余暇活動の充実につなげていきたいと考えています。



ルールやマナーを守って利用することも定着してきました。



団体貸出も利用し、学校図書館内に展示しています。

外部専門家やボランティアの活用

学校図書館を運営する上で、外部専門家や保護者、地域住民など、学校の特色に応じて、外部人材を活用する視点も重要です。支援・助言を通して、学校図書館運営の充実を図るとともに、学校の教育活動への理解や協力を得る機会として、活用することも期待できます。

■外部専門家を活用した例■

月2回程度、司書の資格をもつ外部専門家から、学校図書館運営や読書指導に関する様々な支援・助言を受けています。所定のシートを活用して、外部専門家に支援・助言を受けたい内容を事前に取りまとめ、計画的に読み聞かせ会や、教員向けの選書相談等を実施しています。

<支援・助言例>

- ✓ 図書の分類表示や配架方法
- ✓ 授業で使用する図書の相談
- ✓ 児童・生徒への読み聞かせ会
- ✓ 教員向け研修
- ✓ 学校図書館だよりの発行



外部専門家による読み聞かせ会

選書相談では、豊富な知識から、授業のねらいに即した図書を紹介してもらえます。



■保護者によるボランティアを活用した例■

保護者に、ボランティアとして学校図書館の整備や図書の修理や整理・整頓、貸出業務などの協力をいただいています。保護者に学校の様子を知っていただく機会としても有効です。

A校では、赤いエプロンがボランティアの方の目印です。



B校では、本の修理や壁面装飾の他、昼休み中の貸出手続きの見守りや支援も依頼しています。



←児童・生徒の実態に応じて、左のカードを持参して学校図書館に行きます。